

御所湖隨想

H23年11月 No.3 2

自然観察会

今年は5月から毎月自然観察会を行ってきました。参加者が少ない時もありましたが、とにかくやってみようと思いながら計画通り実施しました。カタクリの会の瀬川強さんは、どんな天候になろうとも続けていますと言うのですが、やってみるとその大変さが実感できます。幸い御所湖広域公園の自然観察会は、案内者に大変恵まれており、主催者としては場所を提供するだけであり、案内者に感謝するばかりです。(私も時々案内しますが。)



当公園での自然観察会の目的につきましては、参加者とともに自然の不思議に目を向け、体感し、感動することにあると考えております。観察会ごとにテーマは鳥・虫・植物などと決めてありますが、それにとらわれずに「?」「!」に気付いたら、参加者全員で共有できるような会になったら素敵だなと...。主催者としても、この自然観察会から多くの魅力を見つけております。一人より二人、三人、...の目で見ると、自然もそれに応えてくれるのか、新たな不思議に巡り会えたり、気付かされたりします。見ていても気付かない(見えていない)ことって案外多いんですよね! 珍しいものを見つけて、一人喜んでいきます。

さて、別のイベントでキノコ狩りの話の中で、「『ヤシノキ』の切り株にのっぴりとキノコが生えているよ。」とのこと。『ヤシノキ』??? 私が知っているヤシノキは、南の島に生えているはずだが・・・? 正解は、右側の写真の木です。標準和名は、「サウゲルミ」です。谷地に生える木という意味でしょうか。

『ヤシ』『ヤス』ともいい、岩手以外では青森・秋田・山形そしてちょっと離れていますが富山でも。

